

# ひょうたんいけ

桜台小 学校だより  
令和3年12月20日  
第42号



18日(土)土曜日には今年の初雪が観測されました。本校の校庭も、雪の積もった木々が真っ白でとってもきれいでした。今週で2学期が終了します。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2学期はリモートによるオンライン学習でのスタートとなり、この先どうなっていくのかと見通しの立たない不安な状況の中、毎日が進んでいきました。修学旅行、自然教室、社会見学については、大まかな内容や日程の変更を余儀なくされましたが、工夫をすることで、充実した行事として何とか実施することができました。運動会については、きょうだい学年単位の実施で、規模や時間を縮小しての実施となりました。高学年には少しでしたが係活動を経験させることができ、6年生は学年内での特別活動として学級対抗リレーを行うことができました。コロナ禍でさまざまな行事が制限される中、園芸ボランティアの皆さんの力をお借りし、感染症が収束に向かい始めた11月末のタイミングで、子どもたちが学級園で育てたサツマイモを焼き芋にさせていただくことができました。

オミクロン株による新型コロナ第6波感染拡大の状況がニュースでは流れています。3学期も手探りをしながらのスタートとなりますが、状況を見ながら職員で相談・共有し、充実した教育活動を進めていきたいと考えています。今後ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



## 風邪の症状拡大によるおぼん対応をしました(4年生)。

前号でもお伝えをしましたが、最近の寒暖差によるものなのか、本校では風邪の症状や発熱で欠席をする児童が増えてきました。風邪の広がりを防ぐため、欠席が顕著に増えてきた4年生については、16日(木)、17日(金)の2日間、コロナ禍の給食対応と同様に2つの教室にわかれて給食を取りました。配膳をバイキング形式とするため、この2日間はおぼんを使用することにしました。

今後は、他学年においてもその日の子どもたちの健康状態を見て、同様の緊急対応をとる場合があります。その場合には、すぐメール等でご連絡しますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 性・生命に関する学習をしました(6年生)。

16日(木)の5、6限目に、6年生は「性・生命に関する学習」をしました。いのちの出前講座として、『助産所ここから』の助産師の方に来ていただき、「自分で守ろう いのち、こころ、からだ」というテーマで講話をしていただきました。

パワーポイントを使って、前半は、助産師の仕事、ひとつの命が誕生するまでの10ヶ月間の状態、受精から胎児までの成長、赤ちゃんの成長の様子などについて語っていただき、命はかけがえないものであることを子どもたちに伝えていただきました。後半は、思春期の心と体の変化、健康に成長するために大切なこと(睡眠、インターネットトラブルに巻き込まれないようにすること、大切な自分を守るという意識を持つこと)、生まれて来てここにいる理由、将来の夢を持つこと、などについて語っていただきました。最後に「ささいなことでも良いので、皆さんも周りの人を幸せにする仕事や役割を持ってください」というメッセージをいただきました。出前講座が終わってから、助産師さんを囲み、現在、自分の体のことで悩んでいることや将来に向けて考えていること、などを話している子もいました。非常に有意義な時間を過ごすことができました。



(文責 北住 昌文)